

## 令和 4 年度 大学塾第 1 ステージ 開催案内

### 日本経済入門 2022 ～経済成長を考える～

かつて日本は各国が羨望する世界第 2 の経済大国でしたが、バブル経済の崩壊以降、ゼロ%程度の経済成長が 30 年間続いた結果、1 人当たり GDP が世界第 33 位に低下するなど「豊かな国日本」は過去のものとなり、格差と貧困が広がる中、経済成長を取り戻すための模索が続いています。

講座では、①バブル崩壊前後の日本経済の変貌、②経済成長が長期低迷に陥った背景、③今後の経済成長の可能性を 3 回にわたり最新のデータや図表を用いて分かり易く解説します。



- 講 師：柴田 寛<sup>ゆたか</sup>氏 元農林水産庁 課長職  
日 時：4 月 2・9・30 日(土曜日) 全 3 回 午後 2 時～4 時  
会 場：足立区生涯学習センター(学びピア 21 内) 5 階 研修室 1  
講義内容：第 1 回 バブル経済崩壊前後の日本経済を振り返る  
第 2 回 経済成長が長期低迷に陥った背景を考える  
第 3 回 今後の経済成長の可能性を考える

### 【美容と健康】 繭玉マッサージ あだち区民大学塾 講師:田中桂子氏

繭玉でマッサージをすると気持ちが良い。手のひらを真っ直ぐ伸ばし両手で「繭玉」一個をコロコロと転がすと、20～30 秒で手のひらと身体が何となく暖かくなります。

このほんの少しの温かさが健康に良いそうです。散歩をしながら「繭玉」を右手と左手に 1 個ずつを握って散歩しながら肘、腰、膝、肩、首筋などを「繭玉」を転がしたり、押ししたりしたマッサージ。背筋の 1～7 番までをコロコロ上から下に転がしてマッサージをするとミトコンドリアが増えるそうです。

繭玉は必ず 1 個にする。2 個の繭玉を握ると(+と+)(-と-)が反発してしまいます。またお湯で柔らかくした「繭玉」でお肌を軽く優しくマッサージすると生糸が汚れを取り除いてお肌のケアもしてくれます。

\*ただし「繭玉」は、研磨力が強いので強くこすらないでください。

薬膳研究家：田中桂子



# みんなの広場

## バルカン半島の旅 (2)



プリトヴィツエ湖沼群

クロアチアの内陸は石灰岩の地層が多くカルスト特有の景観が見られます。その典型が プリトヴィツ湖沼群で、緑色に輝く大小16の湖と100近い滝がある巨大な公園で、中国四川省の九寨溝を大きくした感じです。船と徒歩で 3時間の行程でしたが、アップダウンが大きいのと残雪があってキツイ散歩でした。

トロギールはクロアチア南西部の港町、本土とを結ぶ石橋を渡り旧市街に足を踏み入ると、中心の広場の周りを15世紀の回廊、9～10世紀の教会、時計塔、市庁舎など、多様な建築様式の建物が取り囲み、幾多の時代の変遷が見える。トロギールが本土と切り離され要塞化し、モンゴルやオスマン帝国の侵攻を免れたからとのこと。

トロギールの旧市街



ドゥブロヴニクは海洋貿易によって栄えた都市、アドリア海の真珠といわれる美しい街です。海に突き出た形の城壁に囲まれた旧市街のオレンジ色の屋根が連なる様子は、中世の世界に足を踏み入れたと錯覚してしまいますが、ここにも20年前の内戦の跡があります。ジブリ映画『魔女の宅急便』のモデルになった町。



ドゥブロヴニクの旧市街



城壁の大門から山側を見る

地中海に面した国々にはイスラム教文化とキリスト教文化が重層化した建物(教会)が多く見られます。たとえばイスラムのドームの上にゴシック塔が乗っている風景です。内部もイスラムの模様の壁面にゴシックのステンドグラスが納まっているのです。ビックリします。 次(最終回)は、ボスニアです。

# 令和4年2月事務局からの報告・連絡

## 1月21日～2月13日まで「まん延防止等重点措置」発令

さらに3月6日まで期間延長されました。それに対応し、2月1日予定の運営委員会は中止とし、メール連絡としました。

- ・「まん延防止等重点措置」の3月6日までの延長が発令され、足立区から講座、イベントの原則中止が要請されました。
- ・当会の対応：2/12送付の篠原代表からのメール、参照願います。
- ・足立区勤労福祉サービスセンターより依頼のあった受託講座は、中止となりました。  
(令和4年3月3日、4日 講座：遺産相続と後見制度)
- ・「社会教育」2月号 ロッカーに保管。
- ・新会員情報：板部裕子氏 入会されました。

次回運営委員会3月1日(火) メール連絡

## 「まん延防止等重点措置」延長に伴う事業運営について

昨年10月に緊急事態宣言が解除され、あだち区民大学塾も活動が再開され、令和3年度第3ステージの5講座を順調に開催しました。年が明け鎌倉幕府講座の1回目が終了したところで新型コロナウイルス「オミクロン株」による感染者の急拡大により1月21日から2月13日まで「まん延防止等重点措置」が適用され、講座、イベントの原則中止が要請されました。

### ◎ あだち区民大学塾の対応

- ◆ 鎌倉幕府講座2回目・3回目は延期 ◆ 日本書紀講座の延期 ◆ 足立の伝統工芸は中止にて受講者に案内しました。

感染者の拡大が継続し「まん延防止等重点措置」が3月6日まで延長されることになりました。

### ◎ 令和4年3月のあだち区民大学塾の対応

3月には延期した3講座はいずれも開催日が3月7日以降のため開催を前提に準備を進める。

- ◆ 中世を読み解く『日記』に見る中世Ⅱ＝3月12日・19日・26日(土)  
2月28日申込締切日＝受講券発行：3/7(月)以降も継続された場合は講座中止を記載する。  
受講者名簿、運営スタッフ募集、講座資料は予定通り進める：ボラ活部、事務局、講座担当。
- ◆ 鎌倉幕府講座＝2回目3/12(土)・3回目4/17(日)(いずれも午前10時～12時、講堂)  
2回目3/12(土)の開催可否は3/6(日)の状況で判断する。中止の場合は受講料返金
- ◆ 日本書紀講座＝3月17日・24日・31日(木)にて延期受講券発行済み  
開催可否については3/6(日)の状況で判断する。

### ◎ 会議関係

- ◆ 2/15(火) 講座検討会議＝メール会議、月例会(災害時の協力体制について)＝中止。
- ◆ 3/1(火) 講座企画会議＝メール会議、運営委員会＝メール連絡とする。
- ◆ 期間中の各部局の会議についてはメール会議とする。

(代表理事 篠原英也)

## ◎講座名:新たな生態系の成立へ 新島の誕生から変わる西之島

日 時:4月9日(土) 午前10時30分~正午  
 対 象:16歳以上の方  
 会 場:5階 研修室1  
 受講料:800円(一律、当日会場でお支払い)  
 定 員:30人(事前申込先着順)  
 講 師:川上 和人氏  
 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部門野生動物研究領域 島嶼性鳥類担当チーム長)  
 内 容:2013年から噴火を繰り返してきた西之島。その影響で全域が溶岩や火山灰などで覆われていますが、そこに生命が芽生えて生態系が成り立つ様子を見ることができます。この講座では、現地調査に携わった森林総合研究所の川上和人氏をお招きし、その生態系についてご紹介いただきます。またとない機会、ぜひご参加ください!

## ◎ 講座名:医療専門講座 注目の腸内細菌短鎖脂肪酸の驚きの働き

日 時:4月24日(日) 午後10時~正午  
 対 象:16歳以上の方  
 会 場:5階 研修室1  
 受講料:800円(一律、当日会場でお支払い)  
 定 員:50名(事前申込先着順)  
 講 師:櫻井 俊之氏(東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器 肝臓内科 助教 診察医長)  
 今話題の酪酸など健康の基幹となっている腸内細菌・短鎖脂肪酸の働きをご存じですか。最新の医療情報を正しく学び、腸内フローラのバランスを整え、「腸活」による健康生活を維持させましょう。

お申込みは、電話(03-5813-3730)又は直接窓口インターネット [近所 de まなびナビ] で検索イベント・講座情報→講座予約システム

### 令和4年3月「月例会」のご案内

3月15日(火) 午後3時~5時 研修室4  
 テーマ:「災害時の協力体制について」と  
 「学びピア 21 防災施設見学」  
 (災害備蓄品配布)

### 令和4年4月「月例会」のご案内

4月15日(金) 午後3時~5時 研修室4  
 テーマ:「令和3年度・活動の振り返り」と  
 「次年度の計画」について

\*皆様の積極的な参加をお待ちしています。  
 (ボランティア活動推進部)

- ◎ 運営委員会  
3月1日(火) メール連絡
- ◎ 月例会  
3月15日(火) 午後3時~5時 研修室4
- ◎ 学習支援部  
3月15日(火) 午後1時~2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部  
3月8日(火) 午後2時~4時 ワークルーム
- ◎ 事務局  
3月2日(水)午後2時~4時 ニュース発送  
3月7日(月)午後2時~4時 ワークルーム  
3月31日(木)午後2時~4時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ  
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議  
3月15日(火) 午後2時~3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議  
3月1日(火) メール会議
- ◎ 生涯学習センター 休館日  
3月14日

## ★お問い合わせ&ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ  
事務局 江川武男 電話:090-3105-8140  
E-Mail : [takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp](mailto:takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp)
- ◎ 「ホームページ」に関するお問合せ  
<http://gakugaku.main.jp/>  
広報 G 神戸 明 電話:03-3606-0058  
E-Mail : [kambe.akira2@gmail.com](mailto:kambe.akira2@gmail.com)

## 編集後記

### 「オミクロンの次は『フルロナ』が危険

新型コロナウイルスの蔓延により、例年流行していたインフルエンザはすっかり鳴りを潜めたかに思われていたが、ここに来て、新型コロナとインフルへの同時感染『フルロナ』の症例が世界各地で報告され始めている。今年1月、テルアビブにほど近いベイリンソン病院を出産のため訪れた若い妊婦が入院前の検査で新型コロナとインフルに同時感染していることが判明。本事例は正式に、イスラエルで世界初の新型コロナ・インフルの二重感染『フルロナ』として米UPI通信は報じている。また、昨年はインフルの感染数が低水準にあったものの最近では再燃傾向にあり、『フルロナ』による『ツインデミック(二重のパンデミック)』の懸念が高まっていると記事は指摘する。ニューヨーク大学ランゴーン・ヘルス病院の感染症アレルギー・免疫学の医師は新型コロナとインフルエンザはどちらも呼吸器系の疾患であり症状がほぼ共通しているため見極めることは困難だと語る。米セントラル・フロリダ大学の家庭医学の博士も、同時感染は「免疫システムにとって壊滅的」な打撃となる可能性があり、結果として死亡率も上昇するのではないかとこの予測を示している。同時感染がどのようなリスクを含んでいるかについての研究が急がれるが、2022-1-9日本での同時感染事例は報告されていない。(金子 記)